

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2018年10月9日まで（2008年11月7日設定）	
運用方針	ブラデスコ ブラジル債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。マザーファンドにおける債券等の運用にあたっては、ブラデスコ・アセットマネジメントに、運用指図に関する権限を委託します。	
主要運用対象	ベビーフンド	ブラデスコ ブラジル債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	ブラジルリアル建てのブラジル国債を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーフンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向、信託財産の成長性等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

ブラデスコ ブラジル債券 ファンド（成長重視型）

第17期（決算日：2017年4月10日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「ブラデスコ ブラジル債券ファンド（成長重視型）」は、去る4月10日に第17期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034

(9:00~17:00、土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配	み 金 騰 落	I R F - M 指 数 (円換算ベース)	期 騰 落 中 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
13期(2015年4月8日)	15,479	10	△12.4	282,639.31	△11.8	96.8	—	888
14期(2015年10月8日)	12,401	10	△19.8	232,338.65	△17.8	98.0	—	849
15期(2016年4月8日)	12,999	10	4.9	244,159.49	5.1	97.6	—	836
16期(2016年10月11日)	15,902	10	22.4	299,301.59	22.6	98.0	—	947
17期(2017年4月10日)	18,754	10	18.0	355,769.60	18.9	96.4	—	1,066

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) I R F - M指数とは、ANBIMA（ブラジル金融資本市場協会）が発表するブラジルリアル建ての国債指数で、固定利付債と割引債により構成されています。

I R F - M指数（円換算ベース）とは、I R F - M指数をもとに、委託会社が計算したものです。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準価額		(参考指数)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	I R F - M 指 数 (円換算ベース)	期 騰 落 中 率		
(期首)	円	%		%	%	%
2016年10月11日	15,902	—	299,301.59	—	98.0	—
10月末	16,095	1.2	303,128.60	1.3	96.5	—
11月末	16,204	1.9	307,403.02	2.7	96.4	—
12月末	17,821	12.1	338,120.27	13.0	95.8	—
2017年1月末	18,563	16.7	352,387.96	17.7	97.8	—
2月末	18,919	19.0	357,310.56	19.4	96.6	—
3月末	18,851	18.5	356,779.25	19.2	96.3	—
(期末)						
2017年4月10日	18,764	18.0	355,769.60	18.9	96.4	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

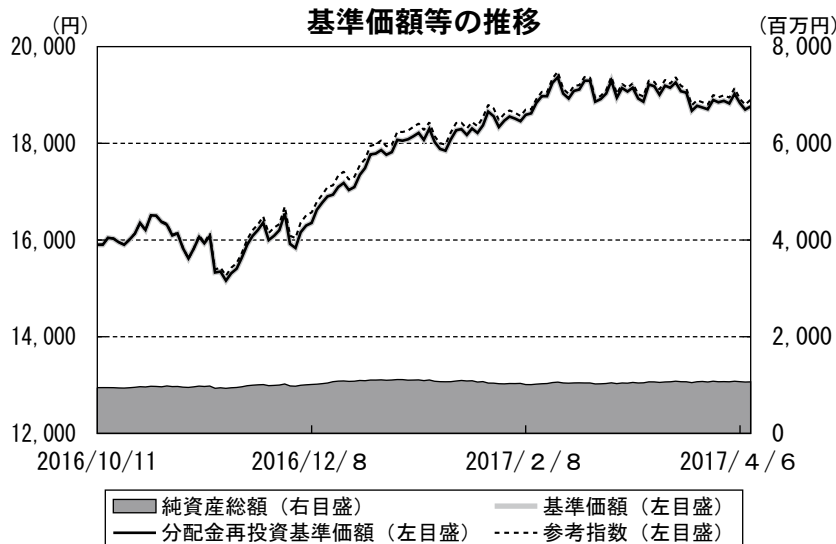
運用経過

当期中の基準価額等の推移について

（第17期：2016/10/12～2017/4/10）

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ18.0%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。



第17期首：15,902円
 第17期末：18,754円
 (既払分配金 10円)
 騰落率：18.0%
 (分配金再投資ベース)

- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

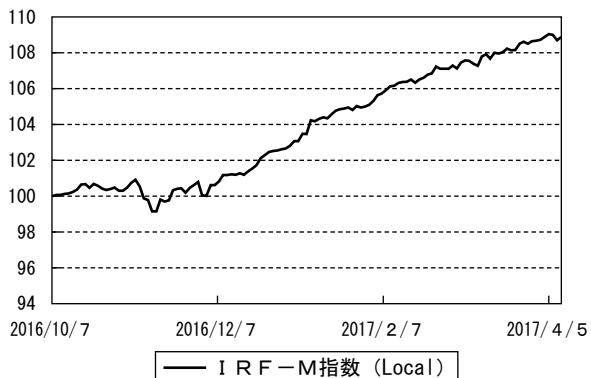
基準価額の主な変動要因

上昇要因

ブラジルレアルが対円で上昇したことやブラジル金利が低下したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

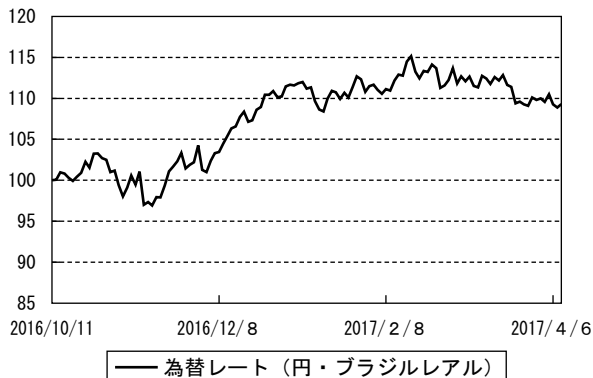
投資環境について

市況の推移の推移
(期首を100として指数化)



(注) 現地日付ベースで記載しております。

為替市況の推移
(期首を100として指数化)



(第17期：2016/10/12～2017/4/10)

◎債券市況

- ・当期は、ブラジル政府の財政改革に対する期待が高まったこと、ブラジル中央銀行が政策金利の引き下げを継続して実施したことなどが影響し、ブラジル金利は低下しました。
- ・期を通じて見ると、金利が低下し、I R F - M指数 (Local) は上昇しました。

◎為替市況

- ・当期は、ブラジル政府の財政改革に対する期待が高まったこと、原油価格が底堅く推移したことなどが好感され、ブラジルリアルは対円で上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

＜ブラデスコ ブラジル債券ファンド（成長重視型）＞

- ・主要投資対象であるブラデスコ ブラジル債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、ブラジルリアル建てのブラジル国債を高位に組み入れた運用を行いました。

＜ブラデスコ ブラジル債券マザーファンド＞

基準価額は期首に比べ19.1%の上昇となりました。

◎組入比率

- ・現物債券の組入比率を高位に維持して運用を行いました。

◎債券種別構成

- ・引き続き、割引国債や固定利付国債の中で流動性が高い銘柄を中心とし、戦略的に一部物価連動国債を組み入れて運用しました。

◎金利戦略

- ・ブラジルの景気減速などを背景にインフレの鈍化が続くとの見方などから、デュレーション（平均回収期間や金利感応度）を参考指数対比で長めとしました。また、中長期ゾーンの債券が相対的に投資妙味があるとの判断から、デュレーションを長期化しました。
- ・ブラジルリアルが対円で上昇したことやブラジル金利が低下したことなどが基準価額にプラスに寄与しました。

（ご参考）

利回り・デュレーション

期首（2016年10月11日）

最終利回り	11.2%
デュレーション	2.4年

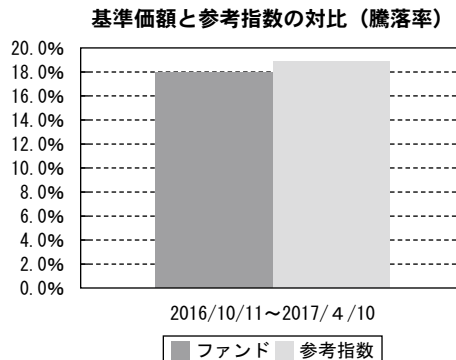
期末（2017年4月10日）

最終利回り	8.9%
デュレーション	3.6年

- ・数値は債券現物部分で計算しております。
- ・最終利回りは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ・デュレーション調整のため、債券先物を組み入れることがあります。この場合、デュレーションについては債券先物を含めて計算しています。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ・参考指数はIRF-M指数（円換算ベース）です。



・ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、信託財産の成長性等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】 （単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第17期
	2016年10月12日～2017年4月10日
当期分配金	10
（対基準価額比率）	0.053%
当期の収益	10
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	13,205

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<ブラデスコ ブラジル債券ファンド（成長重視型）>

◎今後の運用方針

- ・為替ヘッジは行わずに、主要投資対象であるブラデスコ ブラジル債券マザーファンド受益証券を高位に組み入れ、利子収益の確保および債券売買益の獲得をめざす方針です。

<ブラデスコ ブラジル債券マザーファンド>

◎運用環境の見通し

- ・ブラジルでは、インフレが鈍化していることや国内の財政改革が進展すると見ていることなどを背景に、ブラジル中央銀行は金融緩和姿勢を継続すると予想しています。こうした中、相対的に中長期ゾーンの債券に投資妙味があると考えます。
- ・為替市場では、米国の通商政策などの影響に注意が必要であるものの、ブラジルの経常収支が改善していること、投資家心理への影響が大きいと考えるブラジルの年金分野を含む財政改革が進展すると見ていること、ブラジル中央銀行が市況急変時には為替介入などの市場安定化策を実施すると見込まれることなどから、ブラジルリアルは対米ドルで底堅く推移すると見えています。

◎今後の運用方針

- ・金利戦略では、参考指数対比で長めとしているデュレーション水準を維持する方針です。運用効率を勘案し、割引国債や固定利付国債の中で、流動性が高い銘柄の組入比率を高めとする方針を継続します。また、物価連動国債についても一部組み入れて運用を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2016年10月12日～2017年4月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 142	% 0.800	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× (期中の日数÷年間日数)
(投 信 会 社)	(66)	(0.373)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(71)	(0.400)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(5)	(0.027)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	12	0.068	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(12)	(0.066)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	154	0.868	
期中の平均基準価額は、17,742円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年10月12日～2017年4月10日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ブラデスコ ブラジル債券マザーファンド	千口 76,531	千円 152,000	千口 105,920	千円 217,000

○利害関係人との取引状況等

(2016年10月12日～2017年4月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2017年4月10日現在)

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
ブラデスコ ブラジル債券マザーファンド		522,307	492,919	1,059,283

マザーファンドの組入資産の明細につきましては、マザーファンド頁をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2017年4月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ブラデスコ ブラジル債券マザーファンド	千円 1,059,283	% 98.2
コール・ローン等、その他	19,529	1.8
投資信託財産総額	1,078,812	100.0

(注) ブラデスコ ブラジル債券マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産(15,762,325千円)の投資信託財産総額(16,335,215千円)に対する比率は96.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 ブラジルリアル=35.42円			
------------------	--	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2017年4月10日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,078,812,021
コール・ローン等	19,528,257
ブラデスコ ブラジル債券マザーファンド(評価額)	1,059,283,764
(B) 負債	12,295,161
未払収益分配金	568,695
未払解約金	3,403,724
未払信託報酬	8,302,849
未払利息	29
その他未払費用	19,864
(C) 純資産総額(A-B)	1,066,516,860
元本	568,695,839
次期繰越損益金	497,821,021
(D) 受益権総口数	568,695,839口
1万口当たり基準価額(C/D)	18,754円

<注記事項>

- ①期首元本額 595,605,899円
 期中追加設定元本額 215,301,476円
 期中一部解約元本額 242,211,536円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.8754円です。

②分配金の計算過程

項 目	2016年10月12日～ 2017年4月10日
費用控除後の配当等収益額	47,826,137円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円
収益調整金額	484,389,987円
分配準備積立金額	219,333,241円
当ファンドの分配対象収益額	751,549,365円
1万口当たり収益分配対象額	13,215円
1万口当たり分配金額	10円
収益分配金金額	568,695円

- ③「ブラデスコ ブラジル債券マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の35の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

○損益の状況（2016年10月12日～2017年4月10日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 3,392
受取利息	114
支払利息	△ 3,506
(B) 有価証券売買損益	136,499,332
売買益	179,209,062
売買損	△ 42,709,730
(C) 信託報酬等	△ 8,322,713
(D) 当期損益金(A+B+C)	128,173,227
(E) 前期繰越損益金	65,923,260
(F) 追加信託差損益金	304,293,229
(配当等相当額)	(483,900,653)
(売買損益相当額)	(△179,607,424)
(G) 計(D+E+F)	498,389,716
(H) 収益分配金	△ 568,695
次期繰越損益金(G+H)	497,821,021
追加信託差損益金	304,293,229
(配当等相当額)	(484,389,987)
(売買損益相当額)	(△180,096,758)
分配準備積立金	266,590,683
繰越損益金	△ 73,062,891

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

○分配金のお知らせ

1 万円当たり分配金（税込み）	10円
-----------------	-----

◆分配金は決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、2017年4月10日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<http://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

【お知らせ】

- ①信用リスクを適正に管理する方法を新たに定める（分散型に分類）ため、信用リスク集中回避のための投資制限の追加およびこれに伴う投資制限の記載の変更を行い、信託約款に所要の変更を行いました。
(2017年1月11日)
- ②2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

ブラデスコ ブラジル債券マザーファンド

《第17期》決算日2017年4月10日

[計算期間：2016年10月12日～2017年4月10日]

「ブラデスコ ブラジル債券マザーファンド」は、4月10日に第17期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第17期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	主としてブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。なお、投資環境等を勘案して、一部、ブラジルリアル建ての国際機関債、政府機関債等に投資する場合があります。金利や物価の動向、経済情勢や投資環境等を勘案してポートフォリオを構築します。債券等の運用にあたっては、ブラデスコ・アセットマネジメントに、運用指図に関する権限を委託します。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	ブラジルリアル建てのブラジル国債を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数) I R F - M 指数		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	円	騰落中率 %	(円換算ベース)	騰落中率 %			
13期(2015年4月8日)	17,129	△11.8	282,639.31	△11.8	97.6	—	百万円 16,212
14期(2015年10月8日)	13,815	△19.3	232,338.65	△17.8	98.4	—	12,554
15期(2016年4月8日)	14,611	5.8	244,159.49	5.1	98.1	—	11,246
16期(2016年10月11日)	18,049	23.5	299,301.59	22.6	98.5	—	12,134
17期(2017年4月10日)	21,490	19.1	355,769.60	18.9	97.1	—	16,239

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) I R F - M 指数とは、ANBIMA (ブラジル金融資本市場協会) が発表するブラジルリアル建ての国債指数で、固定利付債と割引債により構成されています。

I R F - M 指数 (円換算ベース) とは、I R F - M 指数をもとに、委託会社が計算したものです。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数) I R F - M 指 数		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	(円換算ベース)	騰 落 率		
(期 首) 2016年10月11日	円	%		%	%	%
	18,049	—	299,301.59	—	98.5	—
10月末	18,285	1.3	303,128.60	1.3	97.1	—
11月末	18,432	2.1	307,403.02	2.7	96.9	—
12月末	20,313	12.5	338,120.27	13.0	96.5	—
2017年1月末	21,194	17.4	352,387.96	17.7	98.6	—
2月末	21,627	19.8	357,310.56	19.4	97.3	—
3月末	21,581	19.6	356,779.25	19.2	96.8	—
(期 末) 2017年4月10日	21,490	19.1	355,769.60	18.9	97.1	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ19.1%の上昇となりました。

基準価額等の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●投資環境について

◎債券市況

- ・当期は、ブラジル政府の財政改革に対する期待が高まったこと、ブラジル中央銀行が政策金利の引き下げを継続して実施したことなどが影響し、ブラジル金利は低下しました。
- ・期を通じて見ると、金利が低下し、IRF-M指数(L o c a l)は上昇しました。

◎為替市況

- ・当期は、ブラジル政府の財政改革に対する期待が高まったこと、原油価格が底堅く推移したことなどが好感され、ブラジルレアルは対円で上昇しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

◎組入比率

- ・現物債券の組入比率を高位に維持して運用を行いました。

◎債券種別構成

- ・引き続き、割引国債や固定利付国債の中で流動性が高い銘柄を中心とし、戦略的に一部物価連動国債を組み入れて運用しました。

◎金利戦略

- ・ブラジルの景気減速などを背景にインフレの鈍化が続くとの見方などから、デュレーション（平均回収期間や金利感応度）を参考指数対比で長めとしました。また、中長期ゾーンの債券が相対的に投資妙味があるとの判断から、デュレーションを長期化しました。
- ・ブラジルレアルが対円で上昇したことやブラジル金利が低下したことなどが基準価額にプラスに寄与しました。

○今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・ブラジルでは、インフレが鈍化していることや国内の財政改革が進展すると見ていることなどを背景に、ブラジル中央銀行は金融緩和姿勢を継続すると予想しています。こうした中、相対的に中長期ゾーンの債券に投資妙味があると考えます。
- ・為替市場では、米国の通商政策などの影響に注意が必要であるものの、ブラジルの経常収支が改善していること、投資家心理への影響が大きいと考えるブラジルの年金分野を含む財政改革が進展すると見ていること、ブラジル中央銀行が市況急変時には為替介入などの市場安定化策を実施すると見込まれることなどから、ブラジルレアルは対米ドルで底堅く推移すると見えます。

◎今後の運用方針

- ・金利戦略では、参考指数対比で長めとしているデュレーション水準を維持する方針です。運用効率を勘案し、割引国債や固定利付国債の中で、流動性が高い銘柄の組入比率を高めとする方針を継続します。また、物価連動国債についても一部組み入れて運用を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2016年10月12日～2017年4月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	円 14 (14)	% 0.068 (0.068)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
合 計	14	0.068	
期中の平均基準価額は、20,238円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年10月12日～2017年4月10日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	ブラジル	国債証券	千ブラジルリアル 170,265	千ブラジルリアル 86,521 (30,000)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2016年10月12日～2017年4月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2017年4月10日現在)

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円	%	%	%	%	%
ブラジル	427,450	444,979	15,761,169	97.1	97.1	27.8	40.7	28.6
合 計	427,450	444,979	15,761,169	97.1	97.1	27.8	40.7	28.6

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄			当 期 末				償還年月日	
			利 率	額面金額	評 価 額			
					外貨建金額	邦貨換算金額		
ブラジル		%	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円			
	国債証券							
		10	(IN)BRAZIL NTN 180101	10.0	40,100	41,326	1,463,783	2018/1/1
		10	(IN)BRAZIL NTN 190101	10.0	6,300	6,523	231,076	2019/1/1
		10	(IN)BRAZIL NTN 250101	10.0	62,160	63,918	2,263,982	2025/1/1
		10	(IN)BRAZIL NTN-F210101	10.0	133,300	137,650	4,875,590	2021/1/1
		10	(IN)BRAZIL NTN-F230101	10.0	8,600	8,855	313,670	2023/1/1
		6	(IN)BR NTN-B I/L 220815	6.0	5,100	15,864	561,935	2022/8/15
		6	(IN)BR NTN-B I/L 500815	6.0	11,600	38,830	1,375,384	2050/8/15
			BRAZIL-LTN 180101	—	5,750	5,377	190,455	2018/1/1
			BRAZIL-LTN 180701	—	17,860	16,003	566,842	2018/7/1
			BRAZIL-LTN 190101	—	72,285	61,860	2,191,098	2019/1/1
			BRAZIL-LTN 190701	—	3,950	3,227	114,331	2019/7/1
			BRAZIL-LTN 200101	—	22,360	17,376	615,479	2020/1/1
			BRAZIL-LTN 200701	—	38,085	28,163	997,538	2020/7/1
合 計							15,761,169	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2017年4月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	15,761,169	96.5
コール・ローン等、その他	574,046	3.5
投資信託財産総額	16,335,215	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (15,762,325千円) の投資信託財産総額 (16,335,215千円) に対する比率は96.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 ブラジルレアル=35.42円		
------------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2017年4月10日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	16,335,215,028
コール・ローン等	574,045,830
公社債(評価額)	15,761,169,198
(B) 負債	95,340,879
未払解約金	95,340,000
未払利息	879
(C) 純資産総額(A-B)	16,239,874,149
元本	7,557,044,061
次期繰越損益金	8,682,830,088
(D) 受益権総口数	7,557,044,061口
1万口当たり基準価額(C/D)	21,490円

<注記事項>

- ①期首元本額 6,722,834,987円
期中追加設定元本額 1,513,248,947円
期中一部解約元本額 679,039,873円
また、1口当たり純資産額は、期末2,1490円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

ブラデスコ ブラジル債券ファンド(分配重視型)	5,870,842,355円
ブラデスコ ブラジル債券ファンド(成長重視型)	492,919,388円
ブラジル債券オープン(毎月決算型)	1,133,808,087円
N a v i o ブラジル債券ファンド	59,474,231円
合計	7,557,044,061円

【お 知 ら せ】

信用リスクを適正に管理する方法を新たに定める(分散型に分類)ため、信用リスク集中回避のための投資制限の追加およびこれに伴う投資制限の記載の変更を行い、信託約款に所要の変更を行いました。
(2016年12月20日)

○損益の状況 (2016年10月12日～2017年4月10日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	716,500,196
受取利息	716,584,028
支払利息	△ 83,832
(B) 有価証券売買損益	1,730,628,697
売買益	1,757,080,878
売買損	△ 26,452,181
(C) 保管費用等	△ 9,862,936
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,437,265,957
(E) 前期繰越損益金	5,411,383,205
(F) 追加信託差損益金	1,539,631,053
(G) 解約差損益金	△ 705,450,127
(H) 計(D+E+F+G)	8,682,830,088
次期繰越損益金(H)	8,682,830,088

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。